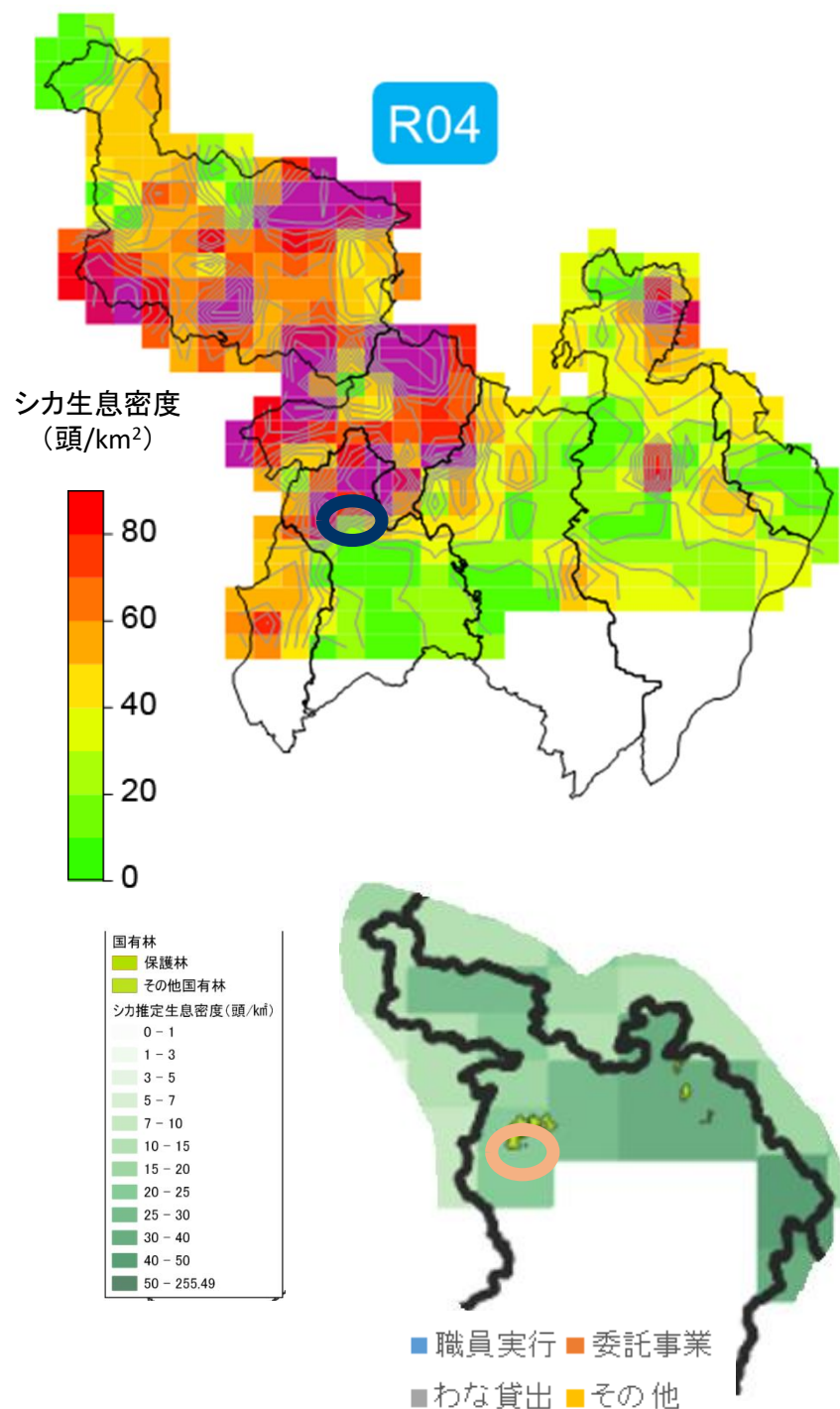


シカ密度分布図



箕面森林ふれあい推進センター

管内の状況(R6年6月時点)

・管内の状況(推計生息数、生息密度、被害状況、捕獲状況等)

大阪北摂地域104ヶ所の調査地でシカの生息密度推定を実施。糞塊除去法でシカの生息密度を推定。IDW(逆距離加重)法による空間補間で生息密度分布を推定。推定生息数は24.1頭/km²(6,100～9,500頭)

・被害状況

第Ⅴ期箕面市鳥獣被害防止計画(令和4年度～令和6年度)及び令和4年度箕面市鳥獣被害防止対策協議会事業計画に基づき、農林業の鳥獣被害軽減に向けた事業を実施。令和3年度における全体の被害額は5,468千円と目標額の1,995千円を上回っている状況となっている。

・取組状況

箕面国有林では、平成26年度から令和5年度までに785頭を捕獲しているものの、未だに植生の回復に至っておらず、さらなる捕獲数の増加が求められることから、引き続き、令和6年度も継続した捕獲を実施している。

令和6年度の目標頭数は100頭、契約締結5/15(履行期間:令和7年1月末まで)

・成果

箕面国有林では平成26年度から捕獲を継続し、この間、推定生息数も令和3年度までに27頭/km²から15頭/km²まで減少し、さらにR4年度は6頭/km²まで減少しており、捕獲効果が数値にも表れているところである。さらなる捕獲強化を実施していく。(大阪府全体の目標は10.5頭/km²以下とする。)

なお、第Ⅴ期箕面市鳥獣被害防止計画(令和4年度から令和6年度)の捕獲数はイノシシ240頭(年平均80頭)、シカ540頭(年平均180頭)、アライグマ90頭(年平均30頭)となっている。

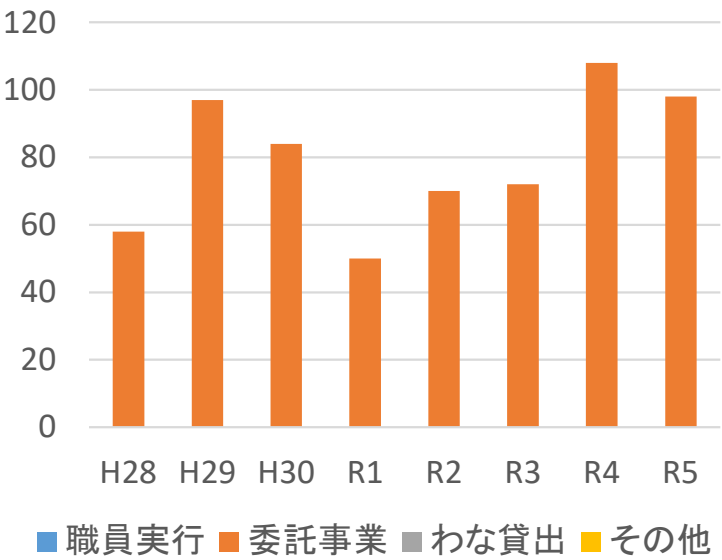
箕面森林ふれあい推進センターでの捕獲状況

捕獲頭数

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
職員実行								
委託事業	58	97	84	50	70	72	108	98
わな貸出								
その他								
計(イノシシ)	58(19)	97(27)	84(20)	50(8)	70(10)	72(5)	108(9)	98(7)

委託事業

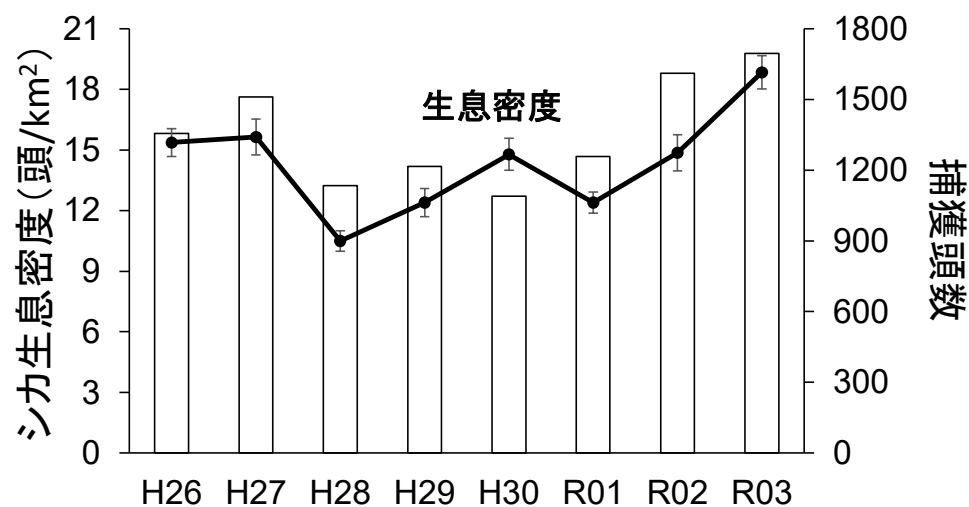
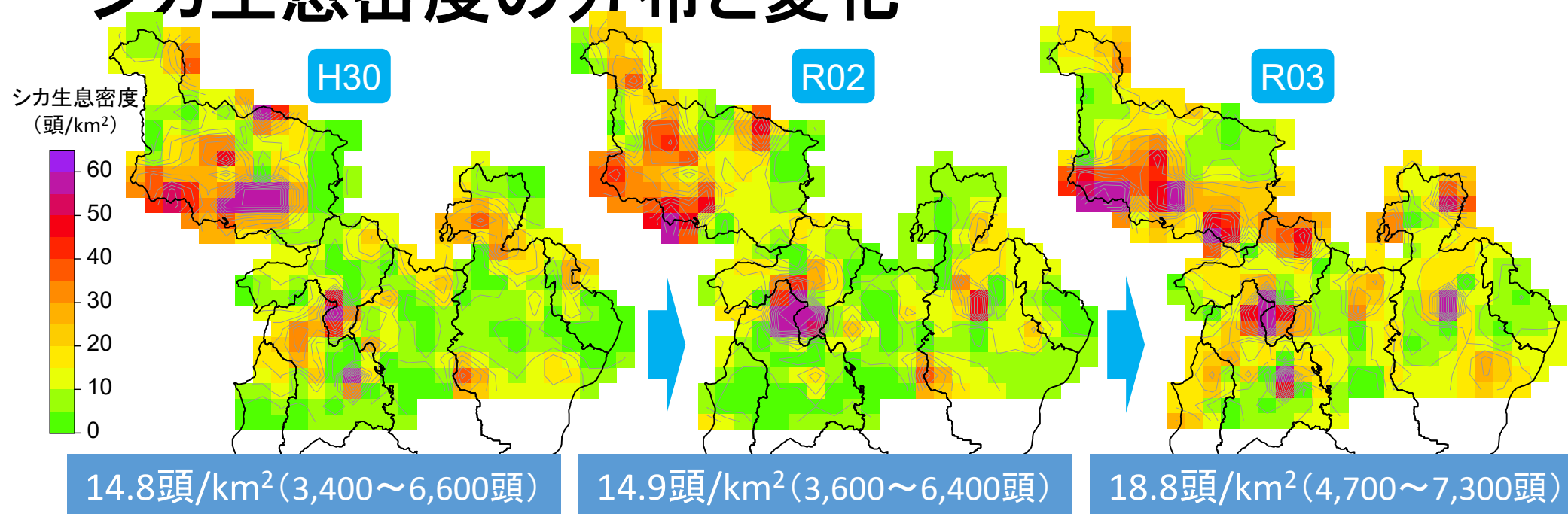
		R2	R3	R4	R5
箕面	捕獲頭数	90(70)	80(72)	80(108)	100(98)



その他

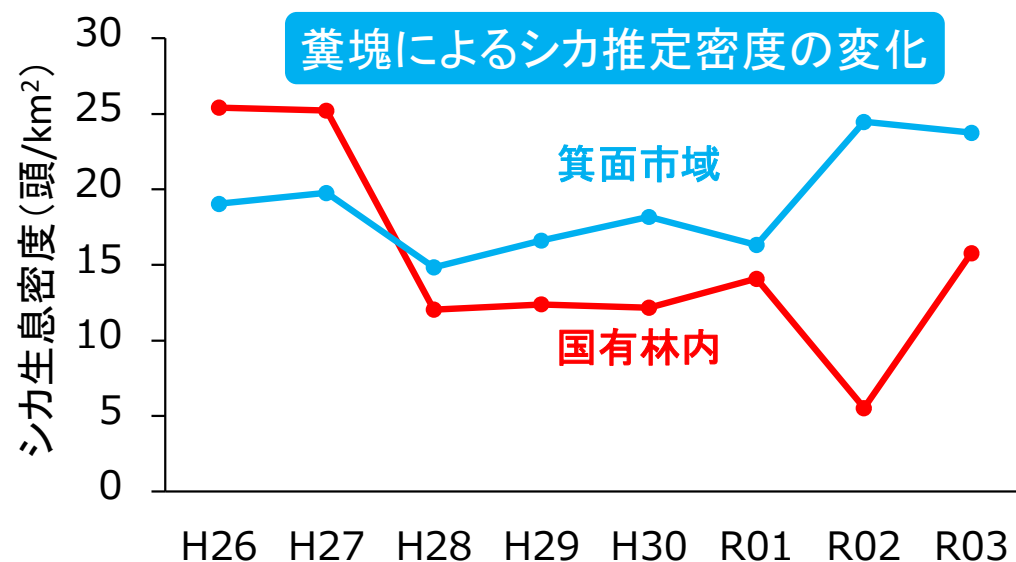
- ・捕獲のほか、ニホンジカ生息状況外モニタリング調査を継続的に実施。
- ・毎年度、猟友会、ボランティア団体など地域の関係者と情報交換会を開催。

シカ生息密度の分布と変化

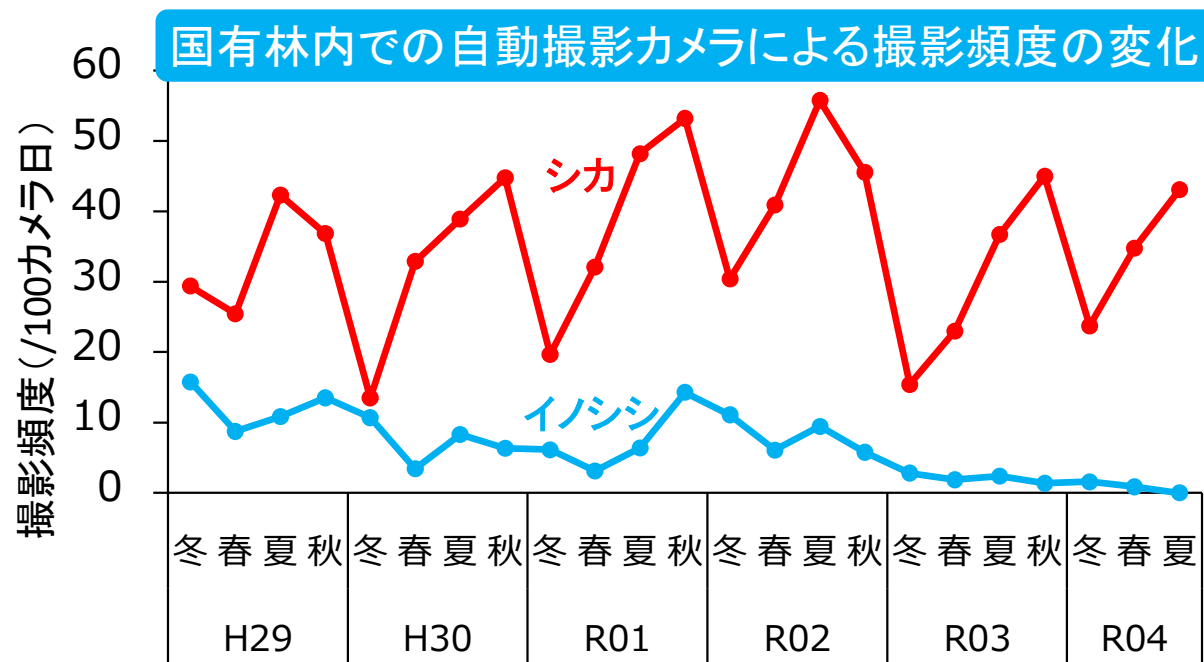


- R3年度のシカ推定密度はR2年度から大きく増加
- 豊能町東部や茨木市など、これまで低密度だった地域での増加が顕著

箕面国有林及び箕面市での変化

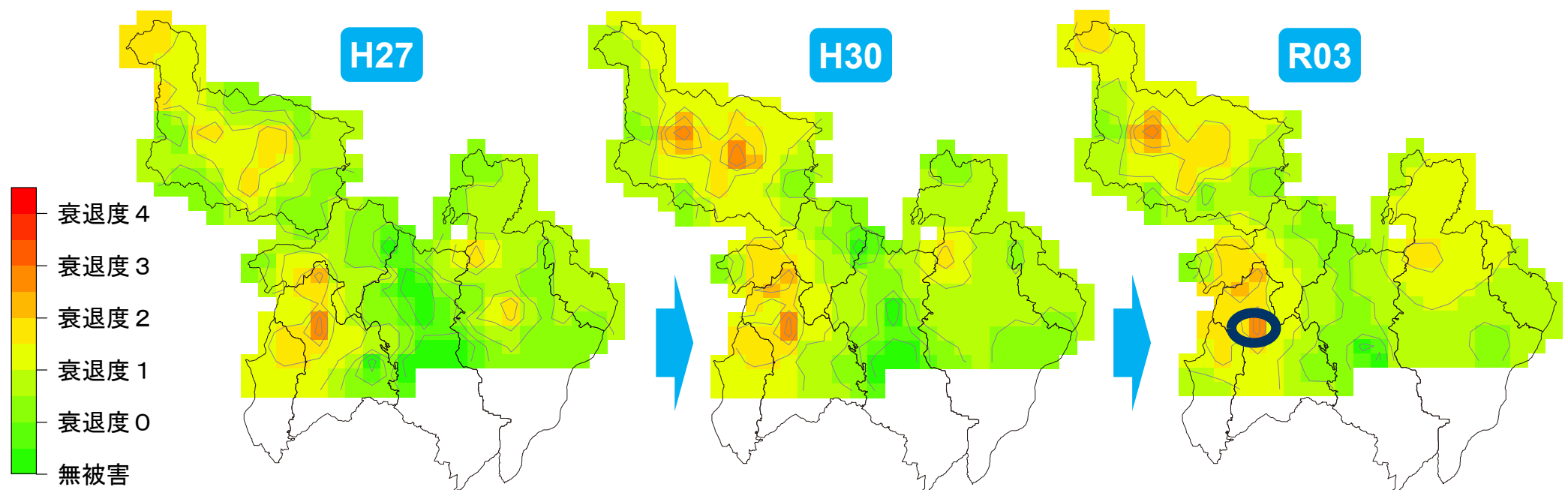


- 国有林内のシカ生息密度はH28年度に急減
 - その後はほぼ一定
- 箕面市域のシカ生息密度はやや増加傾向

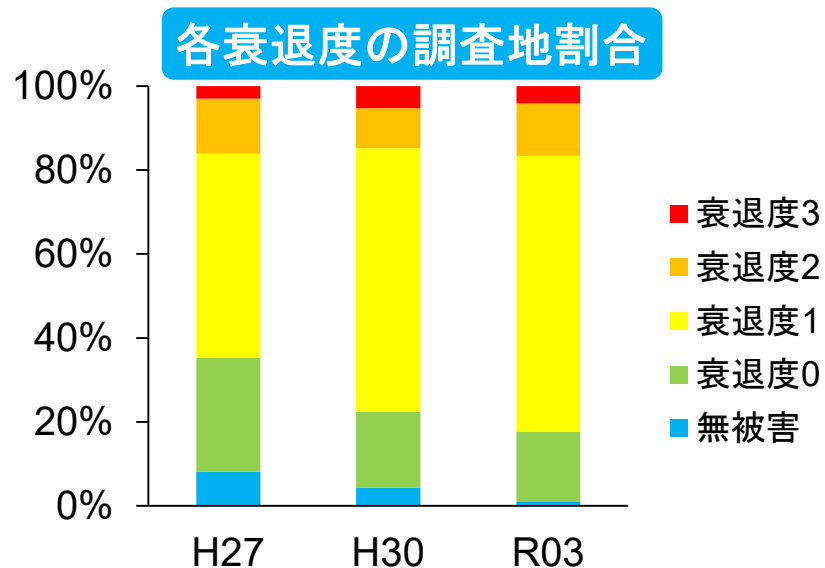


- 自動撮影カメラでの撮影頻度でも、シカはほぼ一定で推移
 - 秋期は活動が高まる
- イノシシは豚熱の影響によりR02年度末から減少
 - 現在も撮影頻度は低調なまま

シカによる下層植生衰退状況



*IDW法による空間補間図



- シカ高密度地域で植生の衰退が進行
- 無被害や衰退度0が減少する一方で、衰退度1の地域が増加
- 勝尾寺やようらく台では衰退度がやや回復